

2020年3月10日

大阪出入国在留管理局長 殿

RAFIQ (在日難民との共生ネットワーク)
共同代表 田中 恵子
〒532-0002
大阪市淀川区東三国四丁目 9-13
TEL/FAX 06-6335-4440

要望書

私たちは、新型コロナウイルスの感染拡大の情報や政府の国民への要請等の情報がある中で、大阪出入国管理庁の被収容者に対しての感染を懸念しています。次の対策を早急に実施するように要望いたします。

収容場の消毒等感染拡大防止にご尽力されていると思いますが、収容場は感染拡大が懸念される条件の①密閉空間であること（窓を自由に開けられない、夜間は部屋に鍵をかけ出られない）、②多人数で集まっていること（1ブロックの定員は50名程度で、1室の定員は6名程度）③至近距離での会話があること、に該当するのではないかと懸念しております。

記

- ① 被収容者に新型コロナウイルスの最新情報を多言語で提供すること。
- ② 被収容者の健康管理に注意すること
- ③ 各ブロックで複数の体温計を用意し、要望がある人にはすぐに検温すること、また体温計については、感染防止の為に消毒したものを用意しておくこと。
- ④ 37.5度以上の発熱や咳、倦怠感のある被収容者は速やかに診療所で受診できるようにすること。
- ⑤ 37.5度以上の発熱や咳、倦怠感のある被収容者は、診断が出るまで別室で隔離すること。
- ⑥ 健康リスクのある被収容者については、注意深く観察すること。
- ⑦ 新規の入所者に対しては、健康診断を行うこと。

以上